

## データセクション 11ヵ年財務データ

会計年度 (百万円)	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
売上高	180,032	185,738	188,623	198,503
営業利益	3,515	1,613	1,865	4,019
経常利益	3,993	2,345	2,750	4,604
親会社株主に帰属する当期純利益	941	837	1,248	1,491
減価償却費	5,088	5,433	5,915	6,286
設備投資	8,453	12,879	11,373	10,749
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,833	433	10,104	9,374
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 9,201	△ 12,365	△ 6,526	△ 8,379
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,595	3,843	1,085	△ 4,200
現金および現金同等物の期末残高	26,858	18,498	22,941	19,573

## 会計年度末 (百万円)

総資産	108,658	111,292	114,947	115,613
純資産	58,938	57,733	57,209	57,807

## その他データ

1株当たり純資産額(円)	921.01	891.04	879.46	887.13
1株当たり当期純利益(円)	16.24	13.10	19.35	23.11
1株当たり配当金(円)	20	20	20	20
自己資本比率(%)	53.7	51.7	49.4	49.5
ROE(自己資本利益率)(%)	1.9	1.4	2.2	2.6

## 経営成績の分析と解説

## 収益および利益の状況

グループの売上高は2,049億83百万円（前年比109.3%）、営業利益は73億6百万円（前年比91.6%）となりました。国内事業は、各事業の販売施策や季節に応じた商品施策の展開による既存店売上高の伸長に加え、出店による店舗数純増により増収となりました。最低賃金の引き上げや吉野家のユニフォームの変更に伴いコストは増加しましたが、増収効果により増益となりました。海外事業は、米国（カリフォルニア州）の最低賃金が大幅に引き上げられたことによる人件費の上昇や、中国における経済不況により、外食産業で大きな影響を受け減益となりました。そして、M&Aにおいてラーメン食材

の製造開発機能を持つ宝産業をグループに加えた結果、売上高および営業利益の増加に貢献しました。

## 総資産、負債および純資産の状況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ61億76百万円増加し1,191億13百万円となりました。これは、出店や改装、M&Aなどの積極的な投資により有形固定資産が107億57百万円増加したことが主な要因です。自己資金でこれらの成長投資を行ったため、現金および預金は67億74百万円減少しました。しかし、当期純利益を確保したことにより、純資産は39億63百万円増加し648億13百万円とな

2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
202,385	216,201	170,348	153,601	168,099	187,472	204,983
104	3,926	△ 5,335	2,365	3,434	7,973	7,306
349	3,369	△ 1,964	15,642	8,741	8,606	7,995
△ 6,000	713	△ 7,503	8,116	7,234	5,604	3,803
6,700	7,715	7,191	6,292	6,138	6,262	6,830
12,091	14,613	5,236	4,547	8,108	11,431	14,924
2,830	14,038	2,722	23,442	7,245	20,071	13,304
△ 9,034	△ 8,453	△ 5,168	△ 333	△ 4,014	△ 8,307	△ 14,398
2,461	288	17,810	△ 26,042	△ 14,196	△ 8,957	△ 5,973
15,660	21,500	36,796	34,211	23,396	26,275	19,524

112,685	126,167	131,921	112,214	108,230	112,936	119,113
50,025	48,385	40,142	48,741	55,603	60,849	64,813

765.73	739.76	612.50	743.85	852.07	932.99	991.79
△ 92.94	11.04	△ 116.09	125.54	111.86	86.63	58.78
20	20	—	10	10	18	20
43.9	37.9	30.0	42.9	50.9	53.4	53.9
△ 11.2	1.5	△ 17.2	18.5	14.0	9.7	6.1

り、自己資本比率は0.5%上昇し53.9%となりました。また、借入金の返済を行った結果、D/Eレシオは0.03減少し、高い安全性を維持しています。

## キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金および現金同等物は、換算差額を加え、前連結会計年度末より67億50百万円減少し195億24百万円となりました。営業活動によるキャッシュ・フローは133億4百万円の収入となり、前年同期と比べて67億67百万円減少しました。主な要因は、税金等調整前当期純利益の減少による18億95百万円減少、売上債権の増加によ

る15億6百万円減少、法人税等の支払額の増加による30億11百万円減少、助成金の受取額の減少による13億1百万円減少等です。投資活動によるキャッシュ・フローは、143億98百万円の支出となり、前年同期と比べて60億90百万円減少しました。主な要因は、有形固定資産の取得に伴う支出増加による39億74百万円減少、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得に伴う支出増加による26億78百万円減少等です。財務活動によるキャッシュ・フローは、59億73百万円の支出となり、前年同期と比べて29億83百万円増加しました。主な要因は、短期借入金純増減額による19億93百万円増加、長期借入金の返済による支出に伴う12億51百万円増加等です。

**会社概要** (2025年5月27日現在)

社名 株式会社吉野家ホールディングス  
 設立 1958年12月27日  
 資本金 102億65百万円  
 本社所在地 〒103-0015  
 東京都中央区日本橋箱崎町36番2号  
 Daiwaリバーゲート18階  
 代表取締役社長 成瀬哲也  
 代表取締役副社長 小澤典裕  
 上場証券取引所 東京証券取引所プライム市場  
 証券コード 9861

**主な連結子会社**

株式会社吉野家  
 株式会社はなまる  
 YOSHINOYA AMERICA, INC.  
 吉野家(中国)投資有限公司  
 ASIA YOSHINOYA INTERNATIONAL SDN. BHD.

**役員** (2025年5月27日現在)

取締役会長	河村 泰貴	常勤監査役	富谷 薫
代表取締役社長	成瀬 哲也	監査役	大橋 修*
代表取締役副社長	小澤 典裕	監査役	横倉 仁*
取締役	前田 良博	※社外取締役および社外監査役	
取締役	藤川 大策*		
取締役	曾和 信子*		

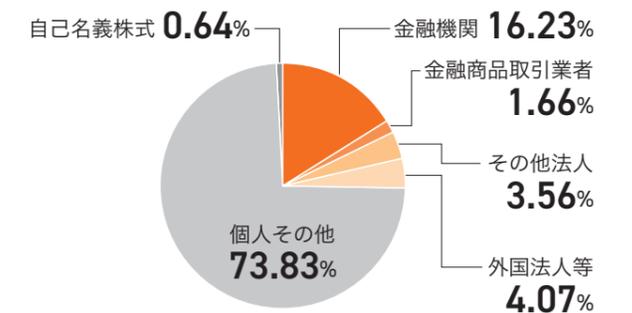
**従業員数**

■ 吉野家	10,150名	[ 男性 5,211名 女性 4,939名 ]
■ はなまる	2,466名	[ 男性 943名 女性 1,523名 ]
■ 海外	2,718名	[ 男性 1,268名 女性 1,450名 ]
■ その他	1,183名	[ 男性 711名 女性 472名 ]
■ 全社	733名	[ 男性 432名 女性 301名 ]
合計	17,250名	[ 男性 8,565名 女性 8,685名 ] ※パート・アルバイト含む

**株式の状況**

発行可能株式総数 160,000,000株  
 発行済株式の総数 65,129,558株  
 株主数 297,845名

**所有者別株式分布状況**



**大株主** (上位10名)

株主名	所有株式数(株)	所有株式数割合(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	7,420,300	11.47
株式会社日本カストディ銀行	2,445,500	3.78
吉翔会	808,800	1.25
大樹生命保険株式会社	558,600	0.86
大和証券株式会社	381,808	0.59
STATE STREET BANK WEST CLIENT – TREATY 505234	372,300	0.58
ハニューフーズ株式会社	326,800	0.50
サントリー株式会社	278,000	0.43
国分グループ本社株式会社	230,000	0.36
吉野家ホールディングス従業員持株会	214,120	0.33

※当社は自己株式を415,302株保有しておりますが、上記大株主からは除外しています。

**株価・出来高の推移**

